

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス みらい (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 27日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員の専門性の高さ	障がい児支援に関する知識や経験が豊富な訪問支援員により、専門的な知識を踏まえアドバイスができています。 お子様の状況に応じて、訪問支援員の配置を考え、発達段階や個々の特性に応じた関わり方や訪問先の環境について助言を行っている。	特定の訪問支援員だけではなく、研修や勉強会を行って全員の知識と技術のスキルアップを目指す。
2	訪問実績の積み重ねで、訪問先施設との相互理解が深まった。	お子様は違うが、何度も訪問している先では、先生との信頼関係が築けるよう、情報交換や情報共有、困り感の共有など、たくさんコミュニケーションをとっている。 話しやすい環境、関係性を築くよう心掛けている。 フィードバックの時間は、先生が話しやすい時間(子どもがいない時間など)を設定している。	フィードバックの時間を業務効率化の観点からオンラインでも行いたい。 訪問支援だけでなく、当事業所の勉強会や研修なども訪問先の先生に声をかけ、常日頃から交流をお願いしたい。
3	併設の児童発達支援や放課後等デイサービスで、困り感を共有し、療育に繋げることができる。	訪問支援先での困り感を当事業所の担当者と連携をとり、SSTや課題の中に取り入れる。 ご家庭、訪問先、事業所がしっかりと連携をとり、3者が同じ方向性で取り組める。	個々の特性をしっかりと理解できるように今まで以上に情報交換と情報共有を行いたい。必要であれば、相談支援員を交えてのカンファレンスも行いたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	限られた訪問支援員でおこなっているため、日程調整が難しい。(すぐに予定が埋まってしまい、空きがない)	専門的知識が高い訪問支援員を増やす。 誰もが同じ支援が行えるよう、知識と技術の向上に努める。	保育所等訪問支援についての社内研修を行い、誰もが同じ支援が行えるようにする。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス みらい
(保育所等訪問支援)

公表日 2025年 2月3日

利用児童数 2024年11月5日 現在10人

回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	0	0	4		今後は、視覚支援など、お子さまの特性に必要だと思われる教材の持参を考えています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	0	0	0		面接室は、プライバシーに配慮されたみらいカフェで行っています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8	0	0	0		今後も引き続き、事業の目的を分かりやすく説明していきます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	0	0	0		訪問支援の依頼の後、しっかりと話し合いを行って、頻度や時間を決めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8	0	0	0		訪問支援員と普段のお子様の様子をよく知っている職員が訪問しています。最低でも2名以上、多職種の支援員で連携をとっています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		お子様の特性に応じて、保育士や心理士など専門性のある職員が携わっています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		訪問をする前に面談やアンケートなどでニーズや課題をお聞きし、訪問支援計画を作成しています。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	1	0	1		訪問が決まったら事前に訪問先の担当者（担任）に課題や現在の困り感などの聞き取りをし、その意向も計画の中に取り入れています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1	0	1		今後も引き続き、ガイドラインを踏まえた支援内容を設定していきます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0	保護者側の意向を支援計画に盛り込んでいただいて、それを園に丁寧に説明して頂いたおかげで、園との意思疎通をはかることが出来ました。	嬉しいお言葉、ありがとうございます。今後も保護者さまと訪問先の意向をしっかりと取り入れた支援計画と計画に沿って支援を行っていきます。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		事前に訪問先と連絡をとり、時間や見学場所、面談時間などを相談しています。訪問先に迷惑にならないよう、心掛けています。
保護 者へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		今後も利用開始前に、丁寧に分かりやすい説明を心掛けます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		支援計画を提示し、しっかりと支援内容の説明を行います。わからない所や不安な時には、質問がしやすい環境を整えます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	0	0	0		保護者向けプログラムを随時行っています。今後も家族が参加できる研修会や情報提供の場を作りたいと考えています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますと思いますか。	8	0	0	0		今後も保護者さまと情報の共有、情報交換を行って共通理解を深めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		定期的（半年に一度）と随時、面談や子育てサポートを受け入れています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		今後も引き続き、しっかり傾聴し、気持ちに寄り添った支援を心掛けます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
説明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		引き続き、保護者様と会話を重ねて信頼関係の構築に努めます。また、相談がしやすい関係性と環境を作り、相談があった場合には、迅速かつ適切に対応をいたします。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		今後もしっかりと配慮しながら意思疎通に努めます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		訪問先で観察した後に必ず面談を行っています。その際には、訪問先からの質問や相談に真摯な対応を心掛けています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	0	0	0		訪問先と話し合った内容は、後日、保護者様にフィードバックさせていただいています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	0	0	0	実施後の面談の際、的確なアドバイスを頂けて、日頃の園生活や家での過ごし方にとても活かすことが出来ました。	嬉しいお言葉、ありがとうございます。今後もしっかりと情報を共有し、お子様に寄り添った支援が行えるよう取り組んでいきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	0		定期的にSNSなどで発信していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		今後も徹底した個人情報の保護に努めます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8	0	0	0		緊急時の対応について、しっかりと話し合いにまで至っていません。今後は、話し合いを重ねたいと思います。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		今後も、安心安全を第一に安心して預けられる事業所に努めます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0	0	0		「満足」というご回答、ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるよう、おひとりおひとりと信頼関係を築き、寄り添った支援を目指します。
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		アンケートのご協力、ありがとうございました。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2025年 2月3日		
児童発達支援・放課後等デイサービス みらい (保育所等訪問支援)				利用児童数 2024年11月5日 現在 10施設 回収数 10		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	0	0	・貴園で過ごす様子等、具体的に教えて頂きわかりやすかった。 ・共通の問題理解ができ安心出来た。	訪問支援員、児童発達管理責任者で連携を取り、具体的で分かりやすい助言や説明に努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	0	0	・対象児がどのような思いをもって行動しているのか、療法の事を含めて知る事ができる機会となった。 ・個別と集団での違いを教えて頂き、保育の中でも取り入れていきたいと思う。 ・毎日の保育の中での悩み事も共有できた。	個々の特性や発達段階に応じた支援、支援に対する知識や技術などを高められるよう、社内研修だけでなく外部研修にも積極的に参加し、知識や技術の向上に努めていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	0	0	・デイサービスでの児童の様子を聞けて良かった。 ・本児が苦手としていることに対しての支援の方法を教えてください。 ・同じような悩みや課題があることを認識できた。	訪問先の先生と相談しやすい関係性を築き、情報共有や情報交換の場を増やしていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	5	0	・内容自体が今すぐどうにかなるものではないと思いますので、長期で考えていきたいと思います。 ・児童が取り組みやすい声掛けや状況などを教えていただけたので有難かった。 ・課題や困りごとは随時変化していく為、解消には至りにくい。 ・保護者との連携など相談させてもらい、課題が軽減された。 ・出席に関してが今も解消できていない。	「困りごとが随時変化していくため、解消には至りにくい」とのこと。 発達していく中で困りごとは、日々変化すると思います。一度だけの訪問で終わらず、その後も連携を取りながら解決策と一緒に考えていきたいと思います。 その為にも訪問先と信頼関係を築き、共通理解を深めていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	1	0	・保育園としての満足度は考えにくい立場にあります。 ・事業所の先生方の対応がとても丁寧で安心した。 ・今後とも就学に向けて相談させていただきたい。	事前に訪問先と話し合いを重ね、援助方法や困り感の情報共有などを丁寧に聞き取ります。また、保育活動の妨げにならないよう努めます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・先日はお忙しい中、保育所等訪問に来ていただきありがとうございました。保育中に対象園児を細かく見ておくことが難しいので、園児の行動や援助方法を教えてください、ありがとうございました。また、よろしくお願いします。 ・お忙しい中訪問していただきありがとうございました。今回の訪問で保護者の方の主訴の認識が、学校が考えていたものと少しずれがあることに気付きました。児童と保護者の困り感が少しでも軽減されるよう支援していきたいと思います。有意義な時間をありがとうございました。				貴重なご意見ありがとうございます。 訪問予定の日程調整や事前の情報共有など、お忙しい中丁寧に対応していただき、感謝しております。今後も訪問先施設様のご負担にならないよう努めます。 「ご本人と保護者様の困り感が少しでも軽減されるよう支援したい」とのご意見、私たちも同じ気持ちです。現在の課題や今後の課題など、訪問先の先生やご家族様と情報を共有し、より良い支援方法について話し合いを重ねていきたいと思います。 また、環境によって困難を抱えているお子様もいます。専門的な知見に基づき、困り感を減らすための支援方法や環境調整などについて、各施設と連携しながら取り組んでまいります。		

・訪問支援ありがとうございました。対象児童について色々とお話を頂き、有意義な時間になりました。彼の課題については今後も長期的に見守っていく必要があるので、また助言等頂く機会があればと思います。今後とも、よろしくお願い致します。

・放課後デイでの様子、入学前からの変化などの話を聞けてよかったです。ありがとうございました。

・ありがとうございました。

・返信が遅くなり申し訳ありませんでした。対象園児は2学期病気がちで保育日数の1/3の登園にまで落ち込んでいます。12月は15日間全日欠席で大変心配している状況です。また3学期に訪問の日程が取れそうであればお願いする予定ではいます。今後とも宜しくお願いします。

しながら集団生活を安心して送れるよう、多角的な視点で解決策を先生方と一緒に考えたいと思います。

今後とも、ご協力よろしくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービス みらい (保育所等訪問支援)		2025年 2月3日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3			現在は教具教材を使用していないが、使用する場合には適切なものを使用する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		最低、2名で訪問している。 人数が多いと訪問先の子どもが気になると思う ので最低人数で何ようになっている。	今後も適切な人数で対応していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3		訪問後には、振り返りを行って次の支援に活 かすように努めている。	振り返りは、訪問した職員だけでなく、広く 職員が参加し、次の目標設定をしていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者と訪問先の意見を職員全員で把握し、 改善に努めている。	毎年アンケート配布を行い、保護者の意見に 基づいて、業務改善をしていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3		従業員の意見は、管理者と児童発達支援管理 責任者が聞き取りをし、改善案を出してくれ る。	意見が言いやすい環境をつくり、意見を反映 させて、業務改善に努めていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		3	第三者による外部評価を受けていない。	今後必要があれば検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3		毎月1回、内部研修を行っている。 年に数回、外部の方を招いて研修を行ってい る。	今後も内外の研修に参加し、職員の資質の向 上を図る。
適切な支援 の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3		客観的に分析ができるよう多数の目を通して いる。	今後も適切なアセスメントを行い、保育所等 訪問支援計画書を作成していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援管理責任者と普段から担当して いる職員と話し合いを重ねると共に訪問先の 意見も取り入れて支援計画を作成している。	今後も、関わっている職員全員の意見を聞 き、支援計画を作成する。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問が決定した際に訪問先の担当者と今回の 訪問についての意向を話し合い、支援計画に 盛り込んでいる。	今後も、訪問先の担当者との話し合いを元 に、支援計画を作成する。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3		支援計画を熟知し、計画に沿った支援を行っ ている。	今後も、計画に沿った支援を行っていく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3		標準化されたツールを用いている。	今後も、標準化されたツールを使用し、確認 していく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	3		令和6年7月に新たに改定されたガイドライン で具体的な支援内容を勘案している。	今後も、具体的な支援内容を設定していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3		作成された支援計画は訪問前に職員間で共有 している。	今後も、職員間で共有していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	3		訪問前には、事前に確認した保護者と訪問先 の意向を再確認している。また、訪問先での 役割を決めている。	今後も、チーム連携し、事前準備を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		観察終了後には、訪問した支援員で会議を行 い、お互いの観察内容を確認した後に訪問先 での面談（フィードバック）を行っている。	今後も、振り返りや観察内容の共有を行う。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2	1	ホームページなどで確認はしているが、理念 や支援手法まで、細部にわたっての理解はで きていない所がある。	今後必要に応じて検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		毎回、観察時にはしっかりと記録をとっている。	今後も、支援の検証・改善につながる記録をとっていく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		当事業所を利用している子どもを訪問することがほとんど。半年に一度、保護者面談を行っているのでその際に訪問の必要性を判断している。	今後も、適切なアセスメントを行い、支援計画の見直しを行う。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		普段から関わり、子どもの状況をよく理解している職員と児童発達支援管理責任者が会議に参画している。	今後も、お子様の状況をよく理解したものが会議に参画する。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	連携が出来ている所と出来ていない所がある。	今後も、必要に応じて連携していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		保護者から依頼を受けた際に情報共有を行っている。書面で伝える時と会議で直接話し合う時がある。	今後も、必要に応じて共有していく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		職員のレベルアップのために研修の時間をとっている。資格取得の補助もある。	今後も、積極的に研修に参加する。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	こども会などは参加していないが、地域の協議会には児童発達支援管理責任者が参加している。	今後も、参加の機会があれば、積極的に参加していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		日頃から話し合う時間をとっている。送迎の関係で保護者と話せない時には、SNSや電話などで連絡をとるようにしている。	今後も、共通理解ができる時間をとっていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			今後も、家族に向けた講習を行っていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			今後も、契約時に丁寧な説明をしていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	1	訪問先施設には、事前にパンフレットを配布している。それだけでは、趣旨が十分に伝わっていない可能性も否めない。	今後も、情報交換会の場で、丁寧な説明をしていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		面談で聞き取りをしたり、事前アンケートでお子様や保護者様の意思や思いを確認している。	今後も、十分な聞き取りを行い、お子様や保護者の意思や思いを確認する。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		訪問前に説明し、同意のサインをいただいている。	今後も、丁寧な説明を心がけ、同意のサインをいただく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			今後も、定期的な面談を行い、専門職員が助言を行う。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	父母の会やきょうだい同士の交流の場を設けていない。	今後必要に応じて検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談や申し入れがあった時は、迅速な対応を心掛けている。	今後も、相談の申し入れには迅速に対応していく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		3	児童発達支援や放課後等デイサービスは定期的に配信している。保育所等訪問支援の発信は少ない。	今後は、保育所等訪問支援の発信を増やしていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			今後も、書類の保管には鍵をかけ、十分に留意する。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			今後も、情報伝達のための個別の配慮をしていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		訪問先から相談を受けることがある。担当者が迅速に丁寧に助言が行えるよう努めている。	今後も、担当者が適切に助言や支援を行えるようにする。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		観察後には、必ず話し合いを行い、情報交換や情報共有、助言などを行っている。	今後も、情報交換会で、情報共有していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		訪問後には、必ず訪問時の様子、訪問先との話し合いの内容など、保護者と面談を行っている。	今後も、保護者との面談を行い、情報の共有を行う。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			今後も、書類の保管には鍵をかけ、十分に留意する。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		信頼関係を築けるよう努めている。	今後も、信頼関係を築けるよう、丁寧な関わり、助言などを行っている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		全てのマニュアルを作成し、職員は研修を行っている。ご家族様には研修内容やマニュアルをSNSで発信している。	今後も、定期的な研修を行い、内容をSNSなどで発信していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全管理研修は、内部研修と外部研修、消防の方に来てもらい心肺蘇生やAED研修などを行っている。	今後も、十分な安全管理のもと、支援を行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットが発生した時には、職員全員で共有し改善に努めている。	今後も、ヒヤリハットを職員全員で共有し、再発を防止する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		年に1度、内部研修を行っている。 職員数名が県が行っている研修に参加している。	今後も定期的な研修を行い、適切な対応をする。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		3	現在、対象のお子様がいないので支援計画書に記載はない。身体拘束の適正化研修は毎年行っている。	今後も、研修を行い、理解を深める。